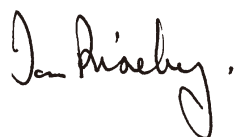


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏




『奥多摩』 写真提供：河合 隆 会員

12月は疾病予防と治療月間です。

2017～2018年度(第60期 小原年度)

12月第4例会プログラム

12月28日(第2922回) VOL. **22**

- | | |
|-------------|--------------|
| ●点 鐘 | 会 長 |
| ●ロータリーソング | 四つのテスト |
| ●ビジター紹介 | 親睦活動委員会 |
| ●幹事報告・委員会報告 | |
| ●上半期を顧みて | 会長・理事・役員・委員長 |
| ●にこにこBOX | S.A.A |
| ●出席報告 | 出席委員会 |
| ●点 鐘 | 会 長 |
| ●ロータリーソング | それこそロータリー |

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

卓話「TXとまちづくり」

塚本 一也 様



自己紹介
1965年（昭和40年）
2月24日生まれ
平成3年 JR東日本入社
（民営化4期生の大卒採用）
一級建築士として駅を中心としたまちづくりに携わる。
15年間勤務後に退職。
輸送事業者としてTXの2次交通を担う。

1. JR東日本の取り組み例

安全性・機能性の他に個性ある駅が求められた



東海道・山陽新幹線、東北・上越新幹線の反省

JR東日本在職中に手がけた駅舎の紹介（一部抜粋）

山形新幹線 高島駅



山形新幹線 天童駅



山形新幹線 赤湯駅



山手線 渋谷駅



2. つくばエクスプレスについて

秋葉原以南の延伸

- ・東京駅の議論よりも相互乗り入れの議論が大事
- ・北千住駅の活用

つくば以北の延伸

- ・常磐線のバイパス機能を持たせる

災害時の想定、整備新幹線の完了、水戸の通勤圏化

- ・首都圏第3空港としての茨城空港の活用
- 茨城空港 VS 横田基地

つくばエクスプレスの優位性

- ・都心への線形の直進性
 - ・ALL高架、又は地下⇒列車障害が無い
 - ・高速性と安全性⇒自動列車運転装置
- 在来線で130キロ⇒ホーム柵によって高速通過が可能

常磐線⇒雨に弱い、通過駅での速度制限、茨城県内での踏切の数

- 上野東京ラインの将来性
- ・常磐新宿ラインの可能性

問題点の解決

- ・つくばエクスプレスの優位性を堅持した延伸計画
- ・新たな事業スキームの構築
- ・気象庁地磁気観測所の存在
- ・沿線開発及び利用客数の確保

近い将来は・・・？



つくばエクスプレス（以下TX）が2005年に開通し10年以上が経過しましたが、沿線の各都市は驚くべき成長を果たしております。沿線の守谷市、つくばみらい市、つくば市はそれぞれ、民間の調査会社による「住みよさランキング」や「成長力ランキング」で上位に位置づけられており、今なお宅地造成と人口増加が続いている賑わいのある地域です。またTXは利用者数、旅客収入も当初の予想を上回る勢いで伸びており、私たちにとっては、鉄道の絶大なる力を再認識する結果になっております。

TX沿線の交通利便性は格段に向上し、住民の多くは満足しているはずですが、インフラの整備というものは、絶えずイノベーションが必要です。例えばTXの都心ターミナル駅への延伸計画は開業当初から想定されており、沿線住民の悲願でもありますので1日でも早く具体化すべきでしょう。また、以前から指摘されていることですが、首都圏の鉄道で他社線との相互乗り入れが一切ないのはTXだけです。さらに、開通後12年を経て有料特急やグリーン車のような新たなサービスを提供し、その収益を利用者に還元するべき時期に到達しているのではないのでしょうか。

茨城県の鉄道事情については、かねてから栃木県・群馬県との比較が論じられます。栃木県・群馬県には新幹線のほか東武鉄道が県内随所に路線を伸ばしており、平成13年からはJR宇都宮線・高崎線が池袋・新宿・渋谷を經由して東海道線・横須賀線に直通運転となる「湘南新宿ライン」も実施しております。また、平成27年開通した上野東京ラインも、常磐線は品川止まりですが、宇都宮線・高崎線は東海道線の沼津・伊東まで直通運転がなされています。

このような背景から、茨城県の鉄道事情を改善に導く声が随所から上がることは当然のことです。旅客運送業に携わる私の立場からしても、この声を行政や事業者に届け、茨城県の交通事情を改善に導くことは、重大な責務であると感じております。

茨城空港から水戸への延伸も、新宿方面へのアクセス改善も、すべてが実現可能な提案です。この問題提起が多くの方々目に留まり、TXの延伸計画を中心とした茨城県の交通革命が多くの人に支持され、現実の計画として動き出すことを心の底から願ってやみません。

卓話の最後に冒頭部分だけを流していたテレビ番組のYouTube版は以下のURLから閲覧可能です。
https://www.youtube.com/watch?v=xSWiq_bMrc4&feature=share

土浦RAC幹事報告 「クリスマスの集い ～道心園での交流例会～」 2018年12月17日(日)

道心園で行われたクリスマスの集いに参加させて頂いた。児童や関係者の方々と交流し、改装後の道心園園内の見学をしながら、これまでの同施設の経緯や説明を聞く機会となり、園内で沢山の関係者の方々と交流することが出来た。

今後、土浦RACとしてどのような関わり方が出来るかなど、積極的な意見交換ができた。

今回は手厚いおもてなしを受けるのみとなってしまうので、今後の同例会に繋げたい。

RAC出席者：濱脇・萩原・新・滝口・矢吹・藤井

